

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)  
分担研究報告書

3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」  
に関する教育と正しい情報伝達に関する研究に関する研究

研究分担者 吉原 弘祐  
新潟大学大学院医歯学総合研究科・産婦人科

研究要旨 「日本癌学会」、「日本臨床腫瘍学会」、「日本癌治療学会」合同ワーキンググループを基盤とし、患者、患者家族、一般市民を対象に、現状のがんゲノム医療の全体像をまとめアップデートを随時行いながら、ゲノム関連情報の提供を行うことを目的とする。NPOがん関連ネット、患者会などと連携しながら、インターネット「がんゲノムネット（仮称）」と書籍「よくわかるがんゲノム医療（仮題）」について制作を進めている。

### A. 研究目的

「日本癌学会」、「日本臨床腫瘍学会」、「日本癌治療学会」が設立した「3学会合同ゲノム医療推進タスクフォース」内の活動目標の1つである、「社会に対する正しいがんゲノム医療の提供」の実現に向け、「がんゲノムネット・ワーキンググループ（WG）」が組織された。この3学会合同WGを基盤とし、患者、患者家族、一般市民を対象に、現状のがんゲノム医療の全体像をまとめアップデートを随時行いながら、ゲノム関連情報の提供を行うことを目的とする。

### B. 研究方法

#### 1. 会議

がんゲノムネット・ワーキンググループ（田村，土原，高橋，古川，川上，佐治，矢野，植竹，林田，吉原，清水）を開催する。インターネット公開および書籍出版により、正しいがんゲノム医療情報を提供する。

#### 2. 関連学会への参加

適切な執筆者の選定や学会でのがんゲノム医療情報の配信に関して情報収集を行う。

（倫理面への配慮）

偏った情報あるいは誤った情報を配信することがないように、ワーキンググループ内で情報源の把握を行う。

### C. 研究結果

2019年9月16日に開催された3学会合同ゲノム医療推進タスクフォース「がんゲノム医療ネット」ワーキンググループに参加した。現状のがんゲノム医療の情報配信に関する問題点を議論し、情報ツールとしてインターネット「がんゲノムネット」と書籍「よくわかるがんゲノム医療」の制作を進めた。また、動画サイト撮影のために、準備を進めた。

### D. 考察

研究計画書の年度予定通りに順調に進んでいる。がんゲノム医療情報は日々更新されていることから、適宜計画の見直しを行い、社会のニーズに合うものを発信できるようにしていく必要がある。

### E. 結論

3学会合同WGでがんゲノム医療情報発信に向けた基盤を築くことが可能であった。

### F. 研究発表

#### 1. 論文発表

Tamura R, Yoshihara K, Nakaoka H, Yachida N, Yamaguchi M, Suda K, Ishiguro T, Nishino K, Ichikawa H, Homma K, Kikuchi A, Ueda Y, Takei Y, Fujiwara H, Motoyama T, Okuda S, Wakai T, Inoue I, Enomoto T. XCL1 expression correlates with CD8-positive T cells infiltration and PD-L1 expression in squamous cell carcinoma arising from mature cystic teratoma of the ovary. *Oncogene* 2020 39; 3541-3554

Tuna M, Ju Z, Yoshihara K, Amos CI, Tanyi JL, Mills GB. Clinical relevance of TP53 hotspot mutations in high-grade serous ovarian cancers. *Br J Cancer*. 2020 Feb;122(3):405-412.

Sugino K, Tamura R, Nakaoka H, Yachida N, Yamaguchi M, Mori Y, Yamawaki K, Suda K, Ishiguro T, Adachi S, Isobe M, Yamaguchi M, Kashima K, Motoyama T, Inoue I, Yoshihara K, Enomoto T. Germline and somatic mutations of homologous recombination-associated genes in Japanese ovarian cancer patients. *Sci Rep*. 2019 Nov 28;9(1):17808.

### G. 知的財産権の出願・登録状況

#### 1. 特許取得 なし